

平成 19 年 4 月 24 日

各 位

会社名 株式会社 精工技研  
 代表者名 代表取締役社長 上野昌利  
 (コード番号 6834 )  
 問合せ先 経営企画室 斎藤祐司  
 (TEL . 047 - 388 - 6401 )

平成 19 年 3 月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 11 月 17 日に公表しました平成 19 年 3 月期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)通期の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1 . 連結業績予想の修正

(単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	7,200	160	330
今 回 修 正 予 想 ( B )	7,156	73	176
増 減 額 ( B - A )	44	87	154
増 減 率 ( % )	0.6%	54.4%	46.7%
(参考)平成 18 年 3 月期実績	6,304	1,217	756

2 . 個別業績予想の修正

(単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	6,600	90	310
今 回 修 正 予 想 ( B )	6,202	8	180
増 減 額 ( B - A )	398	82	130
増 減 率 ( % )	6.0%	91.1%	41.9%
(参考)平成 18 年 3 月期実績	5,795	1,099	672

3 . 修正の理由

当期につきましては、DVD製造設備に対する投資の減退と次世代光ディスクの立ち上がり時期の遅れにより光ディスク成形用新規金型の販売は厳しいものとなりました。新規金型の販売不振は国内の売上高に影響し、個別売上高は前回発表予想から 398 百万円の乖離となりました。一方、情報通信関連市場の国内外の需要は旺盛であり、光通信用部品の販売は予想を上回って推移しました。連結売上高につきましては、光ディスク成形用金型の販売の落ち込みを光通信用部品の販売が補う形で推移し、概ね当初の計画どおりとなりました。

連結経常利益につきましては、付加価値の高い光ディスク成形用金型の販売の落ち込みが影響して、73 百万円となる見込みであります。連結当期純利益につきましては、投資有価証券の評価損等の特別損失の計上により 176 百万円となる見込みであります。

個別経常利益と個別当期純利益の予想値との乖離は、連結業績と同様の理由に因ります。

なお、期末配当につきましては当初の予定を据え置き、1株につき 30円とさせていただきます。

以 上